

令和3年度第3回月形町地域拠点施設整備等審議会の開催結果

開催日時 令和3年10月28日（木）午後5時30分～午後6時30分
開催場所 月形町役場大会議室
出席委員 出席委員11名 欠席委員5名
傍聴者 なし
月形町 上坂町長、堀副町長、五十嵐課長、竹内課長補佐、新道係長、山本

1 開 会 竹内課長補佐

2 挨拶

（福井会長）前回会議は、町の計画に対して意見を述べるような会であって、委員の皆さんも色々な意見もあったかと思いますが、今回は委員の皆さんに審議いただく内容が出てきたということで、お忙しい中集まっていただきました。委員の任期がありますので、継続して審議していくこともありますので、よろしく対応いただきたいと思います。

3 諮 問

（上坂町長）第3回の会議を開催していただき感謝申し上げます。

本年8月18日の地域拠点施設整備等審議会の開催以降、まちづくり推進会議、農協・商工会、福祉事業所を始めとする主要団体との意見交換会を経て、9月の第3回町議会定例会の一般質問に対する答弁という形で、この2施設整備に関する考えをお示ししました。しかし、この間の町の説明も悪かったため、多くの誤解や疑念を生じさせることとなってしまいました。

ここに至った反省に立ち、改めて、当審議会に地域拠点施設の整備内容、道の駅の整備場所と魅力ある道の駅づくりについて、ご審議をいただきたいという考えにいたりました。そのことで諮問したいと考えております。

地域拠点施設については令和4年度・5年度の2か年で、道の駅については本年度内審議の上、答申をいただきたいと考えております。

この後、8月にご説明した町の現段階での2施設の整備についての考え方を改めてご説明をいたしますが、地域拠点施設、道の駅についての考え方は、多岐にわたるものと思います。この町の基本的な考え方に関しましてご意見をいただき、20年度、30年後、町民の皆さんに喜ばれ続ける施設整備となるよう、是非ともご審議いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

（福井会長）審議会としては、前回答申を出しており、道の駅に関しては審議会として言及できないと盛り込んだ経緯があります。拠点施設は後になりますが、道の駅についての審議は、本来であれば委員全員で決めな

けれどもならないが、今日出席の委員の了承のもとスタートさせていくことになります。これについて、委員のご意見を頂きたい。

(香西委員) 今日、どこまでの話になるのか。

(福井会長) この後、事務方から具体的な話があるかと思いますが、やるからには当然きちっとした協議をしなければならないが、スケジュールもあるので、その辺の意見も頂きたい。

(梅木委員) やるのであれば徹底的にやらなければならないと思う。スケジュールがタイトになってもやっていった方が良い。また、協議内容を広報に載せて町民に議論の内容をお知らせして行って欲しい。町民との意識のズレがあるとせっかく良い議論が出来たとしても、そこに壁が出来てしまうのはどうかと思う。その中で、町民からの意見も受け付けるなどの工夫があっても良いと思う。傍聴できるといっても来づらかったりする、協議情報をオープンにし、どこまで進んでいるのか知ってもらうことも重要なことだと思う。

(廣野委員) 町がこれまで各団体と拠点施設整備等の議論を進めている状況と、これまでの説明がある中で、道の駅の場所の問題が出てくると、新たにどこまでの議論を行って良いのか疑問がある。

(福井会長) 審議する中の流れで、バスターミナルの関係も含めて拠点施設となることや皆楽公園の優位性があるとの説明がある中で、審議会としてどのような答えがまとまるかの話はあるが、それはそれとして答申書の中に出して行くことになる。

(香西委員) 整理すべき事を整理できるという話であり、これまで町の説明では、やるのか、やらないのかは、はっきりして来なかったが、やることを前提に話あっていくことにしないといけない。

(福井会長) 審議会の中で、財政が厳しい中で道の駅はいらなくなった場合でも、協議内容は答申に載せることで話をしているので、今回は作ることを前提に話を進めていき、協議内容を答申していくことになる。

梅木委員の広報の話は、別途検討していくことになるが、今後、皆さんと諮問に沿った議論を進めていくこととします。

5 議題

(五十嵐課長) スケジュールの話がありましたが、具体的な議論については、次回からとなりますが、8月18日に説明した内容を改めて説明させて貰い、質問等があるかと思いますが次回からということでお願いいたします。

9月議会の定例会で一般質問に町長が答える形で、厳しいご批判等も頂いたところではありますが、決して町が独善的に進めてきた訳ではなくて、審議会からの答申を受け、道の駅は必要であるということ、場所については当時の段階では決めることが出来なかった中で、町が責任を持って進めて欲しいという内容を受けて進めてきた経緯があるということ、ご承知おき願いたいと思います。

(1) 町からの諮問事項について

①地域拠点施設の整備について（五十嵐課長から説明）

②道の駅の整備について（五十嵐課長から説明）

(五十嵐課長) 道の駅の整備場所については、町民保養センター改修基本計画の策定に関わる部分があるため、令和4年3月には答申を貰いたいと考えておりますが、審議の進め方等は次回に詳しく決めて貰えればと考えております。

(福井会長) 道の駅を整備するということで進めていくので、前回とは状況が異なる。ゼロからのスタートでは無いので、次回までにどのような資料が必要か、どのような議論が必要かを整理して持ち寄って進めていきたい。

(梅木委員) 終わりを決めた議論では、議論が煮詰まって終わってしまう可能性もある。柔軟性を持たせた進め方が必要と考える。1月、2月で集中的に決めていくことにして、余裕を持たせた議論としてはどうか。

(福井会長) 皆さん仕事もあり忙しい中で集まって進めていく事になるので、年内にある程度協議を進めて、その中でなかなか進まない様であればその時考えて行くことで進めていきたい。

(香西委員) 道の駅の中身を考えないで場所だけであれば、判断する材料が揃えば、そこまで時間が掛からないのではないかと考える。

(五十嵐課長) 次回協議会までに、必要な資料があれば連絡してもらい用意していきたい。

(香西委員) 比較資料について、皆楽公園が優れているという資料について、外の人の意見を聞いてみたい。道路に面している、面していない事の第三者的視点を取り入れてみたい。

(鳥潟委員) 当事者となる方の意見を取り入れるための場として、この会に参加してもらうこともあるのではないかと。

(五十嵐課長) 皆楽公園の優位性をお示ししているが、決定している事項ではないので、今の段階では当事者という方が誰であるというのは難しい状況であり、また、新たな参加者を入れた中での審議ではなく、本審議会の委員をもって進めて頂きたい。

(梅木委員) 以前から話しているが、確認しなくてはいけない事項がある、「整備する費用はどのくらい掛かるのか」、「整備した後の維持費はどのくらいか」、「誰が管理するのか」、「そこに入る店やどんな活用が考えられるのか」、「月形町への効果はどの程度あるのか」の整理が必要と考えているので、今後整理していくことで進めて欲しい。

(松山委員) 近隣道の駅の状況や、どのようなお店が入ってどのように盛り上がっているのか、どのように整備していったのか、整備内容を選んだ流れなどの資料があれば、参考になり審議しやすいと思うのでお願いしたい。

(竹内課長補佐) 可能な限り集めて提供させていただく。歴史ある道の駅だと整

備当初の話をわかる方が少ないかもしれないが、可能な限り近隣情報を集めてみます。

(堀副町長) 資料については、今思い付かなくとも次回審議会までにあれば、対応させていただくので、事務局へ連絡願う。

(福井会長) 梅木委員の広報の話であるが、途中経過が決定では無いので、情報の発信の方法が難しいと感じている。

(梅木委員) 町民とのイメージのズレがあるので、少しずつ、少しずつ情報発信していかないと、いきなり思っていたのと違うと反応が出ないよう。工夫が必要とは考える。

(福井会長) 対応は考えて行きましょう。次回の審議会は、11月中旬以降に開催とします。本日はお疲れ様でした。

月形町地域拠点施設整備等審議会委員名簿

委嘱期間 令和3年7月1日～令和5年6月30日

NO	委員区分	所属等	役職	氏名	出欠
1	条例第3条第2項の1号委員 ※町の区域内の公共的団体及び 関係機関の会員又は職員	月形商工会青年部	部長	香西 雅之	○
2		月形商工会女性部	部長	廣野 いつみ	○
3		月形町農業協同組合	専務理事	福井 誠	○
4		月形町農業協同組合女性部	代表監事	中村 三賀子	○
5		社会福祉法人月形町社会福祉協議会	主任	齋藤 貴子	○
6		月形町老人クラブ連合会	会長	西山 雅俊	×
7		月形観光協会	副会長	廣野 和男	○
8		月形町PTA連合会	会長	松浦 朝太郎	×
9		月形町赤十字奉仕団	委員長	松山 俊子	○
10		NPO法人 コミュニティワーク研究実践センター	相談支援員	熊倉 なみ	×
11		市北行政区		高島 康典	○
12		月形刑務所	矯正処遇官	本多 大輔	○
13		社会福祉法人雪の聖母園	生活支援員	鳥潟 慎太郎	○
14	条例第3条第2項の2号委員 ※識見を有する者	月形町社会教育委員会	委員長	伊藤 格	×
15	条例第3条第2項の3号委員 ※公募による者	会社員		梅木 悠太	○
16		農業及びフリーランス（IT、翻訳通訳、販促、デザイン、文書校閲等、各種業務受託）		加藤 由紀	×